

大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業

—No.40 白岡市—

【事業の目的】

市内における過疎地域の生活利便性の向上、定住人口の確保、市内外からの交流人口の増加を図ることを目的として、地域活性化について検討するとともに、地域づくりを担う人材を育成する事業です。

【事業の内容】

平成29年度は、慶應義塾大学との連携・協働により、地域活性化に向けた「白岡元気プロジェクト」の検討及び地域活動の担い手となる人材の育成を行いました。

この成果を踏まえ、本年度は、「地域における活動の実践」をテーマに、慶應義塾大学、地域住民及び行政（市）の連携をより一層深め、地域活性化の推進を図ります。

【事業年度】

平成29年度～平成33年度（5か年）

【予算額(千円)】

総額 24,590千円

うち 3,314千円（平成30年度）

【財源】

県支出金、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

大山・菁莪地域は、当市の西部と東部にそれぞれ位置し、市の中心市街地から離れていることから、市内の他の地域に比べて人口減少と少子高齢化の進行が顕著に見られる地域です。

このような中、両地域が将来にわたり、活力ある地域社会を維持することを

目指し、地域活性化や生活利便性の向上に取り組むこととしました。

【事業のPRポイント】

本事業は、首都40キロ圏に位置する本市において、市域内の人口格差の解消を目指し、地域住民を巻き込んで実施する事業であり、人口減少対策等に直接的かつ効果的な事業です。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成30年度は、次に掲げる事業の実施を予定しています。

1 慶應義塾大学との連携による地域活性化の取組

大山・菁莪地域を元気で魅力的な地域にするため、慶應義塾大学と連携し、地域間や多世代が交流するイベントの企画・実施、地域住民同士の会話が生まれる場づくり、また、情報発信等の取組を実施します。

2 地域住民等による地域活動を促進する取組

地域住民等による地域のための主体的な事業の促進を図るため、地域住民を主体とする地域活性化協議会を設立します。また、協議会が企画・運営する事業に対する補助金を交付します。

また、実践力のある人材育成を目的とした研修の開催、地域活動の裾野を広げることを目的に、「女性」や「シニア」を対象とした研修などを開催します。

3 地域間交流事業、生活利便性の向上を図る取組

大山・菁莪地域における交流人口の増加を図るため、都内に住む女子大学生等を対象とした農業等体験事業及び市内における地域間交流を実施します。

また、生活利便性の向上を図るため、住宅団地等における買物支援の実証実験を行います。

【参考資料】

大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業イメージ図

〔 連絡先 〕

企画政策課 政策調整担当 0480(92)1111(内線343)

大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業 (白岡市)

《首都圏自治体の課題「**地域内過疎**」に取り組むモデルケース》

慶應義塾大学との**域学連携**による「**地域活性化**」と「**利便性の向上**」



地域の魅力
発掘とPR



慶應義塾大学

域学連携

大山・菁莪地域
(女性、シニア、若者等)

地域づくりの
検討と実践



白岡市

地域づくり人材
の育成



地域づくり

- 地域ガール体験事業
- 大山菁莪エリアチャレンジ補助事業
- 白岡元気プロジェクト事業

人材づくり

- 実践的地域活性化人材育成事業
- 地域活動キックオフ事業

しごとづくり

- 菁莪地域支えあい実証実験事業
- 大山地域交流促進事業



地域住民の主体的な地域活動の実践による
地域の活性化と利便性の向上

大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業 (白岡市)

大山地区・菁莪地区の地域づくりに関する 将来イメージ

域学連携

人材づくり

地域課題を「自分事」としてとらえ、
地域の人が、自ら地域活動に取り
組んでいる。



地域づくり

地域の「居場所(活動拠点)」に多く
の人が集い、様々な活動が「創発」
している。

○地域、慶應義塾大学、白岡市の連携により本事業に取り組むことで、
両地域における、以下のような活動の展開を目指します。



多世代交流による地域行
事や食文化の継承
(地域への愛着の醸成)



地域住民による高齢者の移動
支援(生活利便性の向上)



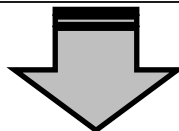
地域の「居場所」における
様々な活動の創発
(空家の活用)



地域資源を活用した地区内外の
交流
(コミュニティの形成、交流人口増加)



地域住民の運営による買物
支援(生活利便性の向上)



地域住民の主体的な地域活動の実践による
地域の活性化と利便性の向上